

ヒロカマ展

SH-1から70年、
肆木の家から40年

広瀬鎌二

建築会館ギャラリーでは、「ヒロカマ展／広瀬鎌二」(SH-1から70年、肆木の家から40年)と題し、さまざまな分野の仕事仲間から「ヒロカマさん」と親しみを込めて呼ばれた建築家・広瀬鎌二の活動とその魅力をアーカイブズの貴重な資料とともに紹介します。

今回の展示では、広瀬が1953年に発表した鉄骨造の自邸「SH-1」と、鉄骨住宅の工法を確立すべく工夫を重ねて到達した代表作「SH-30」(1960)の現寸大の架構を建築会館の中庭に展示します。資料に基づき忠実に復元された両作品のスケール感やディティールの違いを実際に見て感じ、建築家の思想の一端に触れていただくことを期待します。

展示ではまた、母校である武蔵工業大学の教員となってから、学生と一緒にセルフビルドで建てた木造の自邸「肆木の家」(1983)の建設プロセスを、当時の資料とともに紹介します。

講演会では、異なる分野の研究者が集まり、住宅の工業化から日本の伝統構法まで幅広い関心を持ち続けた「ヒロカマさん」の魅力とその現代的な価値について議論し、またそれを可能にする建築アーカイブズの重要性についても考えたいと思います。

展覧会

2023年11月18日(土)～12月3日(日)

09:00～19:30(土日祝日は17:00まで、11月18日は19:30まで)

建築会館ギャラリー(東京都港区芝5丁目26-20)

入場無料

■展覧会冊子・ポスター資料販売(会場販売のみ)

冊子「ヒロカマ展 SH-1から70年、肆木の家から40年」(A4判)

SHシリーズ セイムスケールポスター資料(A1判)



主催：日本建築学会博物館委員会